

野外調査研究会 講座 高麗郡とは何か、その特徴

青柳茂樹

高麗郡の概略



平安時代初めに完成した”続日本紀”には、716年に武蔵国に高麗郡を建郡したことが記載されている。

”続日本紀”の完成は797年なので、建郡後81年後に正式に記述された事になる。

その中で「靈龜二年五月辛卯(シンボウ)、駿河・甲斐・相模・上総・下総・常盤・下野七国の高麗人千七百九十九人を武蔵国に移住させ、はじめて高麗郡を置いた」と記載されている。

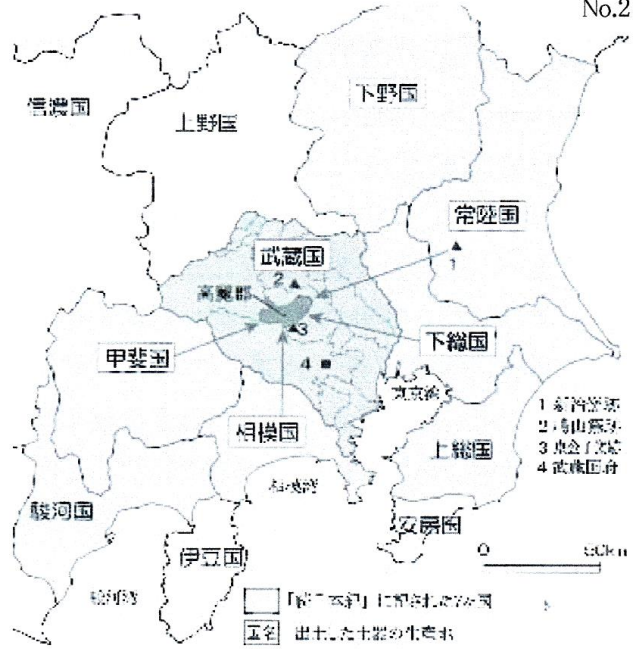
高麗(こま)とは、広海土王時代に自ら高句麗を指して呼んだ名前。

高句麗の初期の都であった五女山城は、現在の中国

遼寧省桓仁満州族自治県にある。

高句麗の領土は、最盛期には満洲南部から朝鮮半島の中部までを領土としたが、唐・新羅連合軍に敗れ、難民の一部は日本に来了。





郡としての特徴は、北東アジアから日本への避難民が増え、ヤマト政権は、未開発地を郡として開発・運営を渡来人に委ねた。難民増加が、幾つかの建郡に繋がっており、高麗郡もその一つである。

- 例：摂津国に百濟郡 クダラノコオリ・上野国に多胡郡 タゴグン・美濃国に席田郡 ムシロダグン
- ・武蔵国に新羅郡 シラギグン 等

高麗郡が出来た背景とは

高句麗は、唐と新羅連合軍との戦争で、666年に日本へ援軍要請の使節団を派遣した。

その時の副使は15歳の王族・若光であった。

日本は国内事情により高句麗へ派兵せず、2年後の668年に高句麗は滅亡したが、若光は日本に留まった。

唐（中国大陸）と新羅の連合軍により、660年に百濟が滅び、その8年後には高句麗が滅亡した。

その結果、朝鮮半島は新羅に統一された。そして、この時代に百濟や高句麗からの大勢の難民が、日本に渡ってきた。

難民の中には、若光と旧知の福德がいた。その福德は若光の命により東国各地に移り住んだ高句麗人を尋ね歩き、若光の想いを伝えた。

ヤマト政権の貴族となっていた若光は、東国の未開地を高句麗人難民で開墾して村を作りたいと、朝廷に願い出て認められ、権力の後ろ盾を得た。

若光は郡となる場所について、福徳の助言から武蔵国入間郡の未開拓地と考えていたと思われる。

大和地方などに住む高句麗人と共に船で、相模国の大磯に上陸し、現在の日高市・飯能市の周辺に到着したと思われる。

東国7国に移り住んでいた高句麗人たち1,799人は、現在の日高市・飯能市周辺に集まり開拓を始めた。

高麗郡時代の遺跡

弥生・古墳時代には、この地には人が住んでいた形跡がない。丘陵や台地が多く、水田など耕作が可能な土地が少なかった為と考えられている。

建郡にあたり移り住んだ高句麗人は、小畔川（こあぜがわ）や南小畔川（みなみこあぜがわ）などの小河川沿いに水田をつくり、集落を作った。

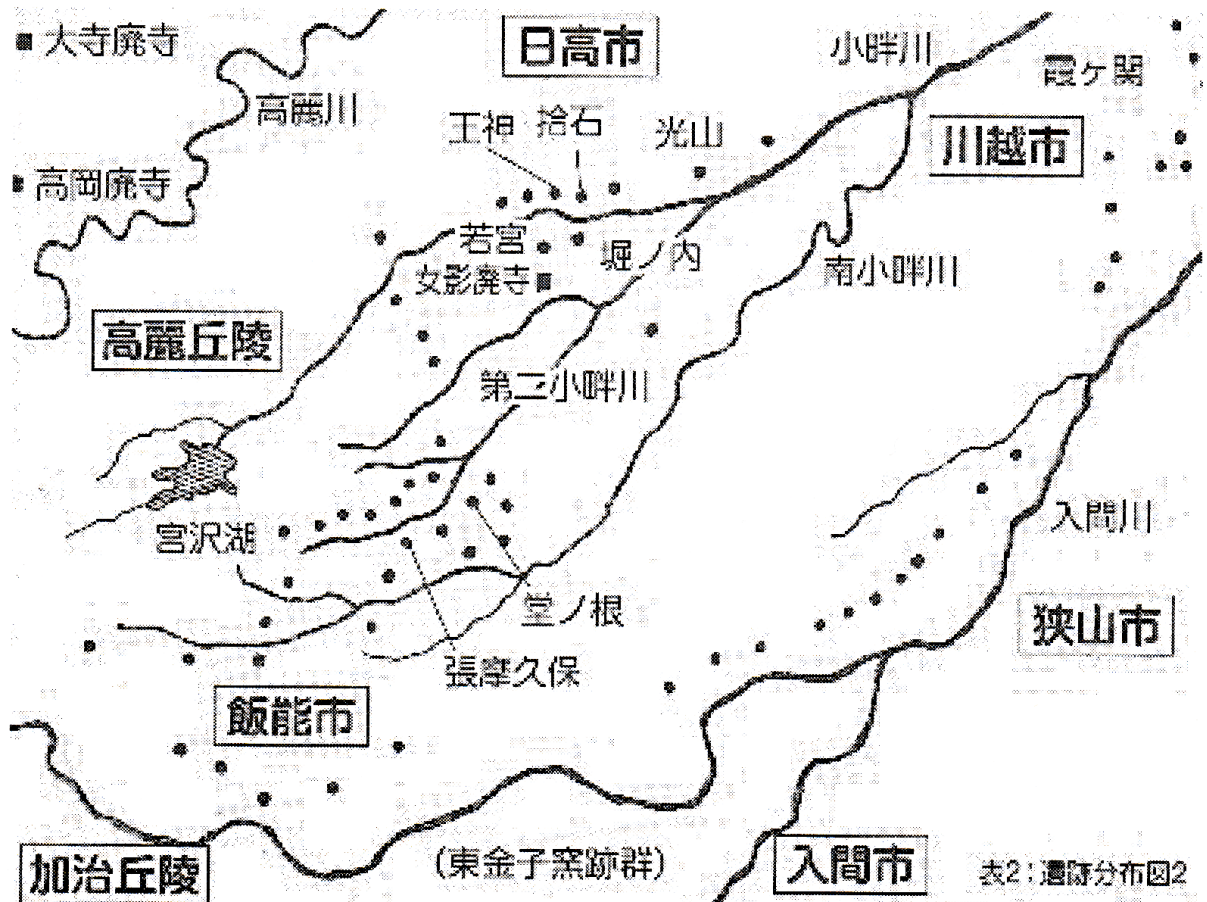


表2：遺跡分布図2

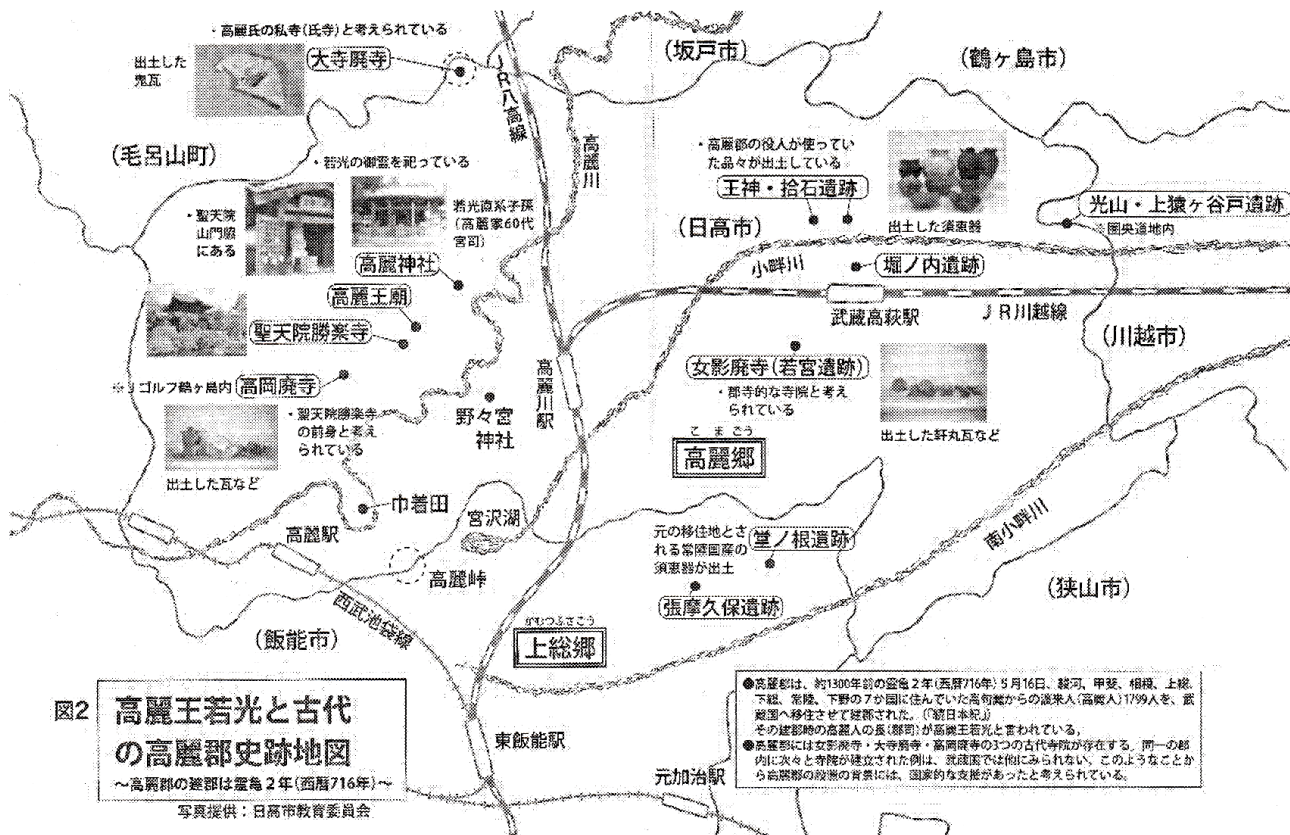
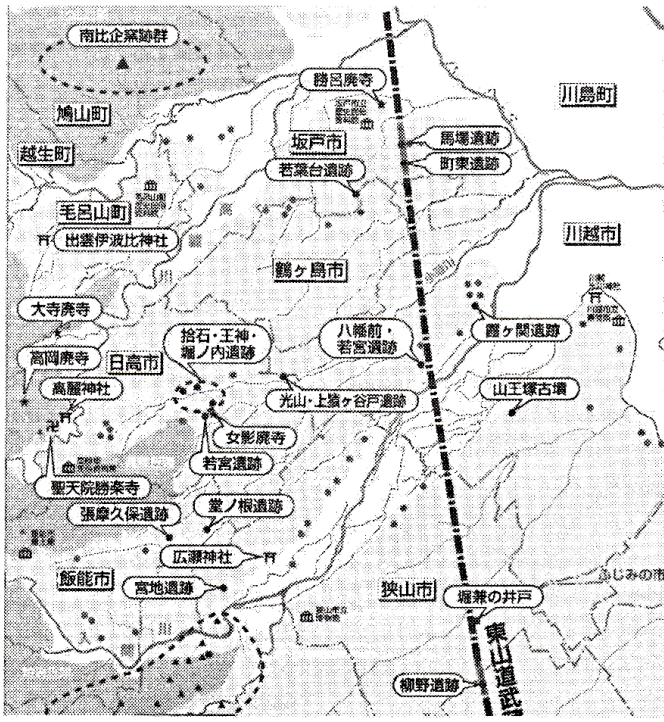


図2 高麗王若光と古代の高麗郡史跡地図
～高麗郡の建郡は聖徳2年(西暦716年)～
写真提供：日高市教育委員会

遺跡などのできた時期一覧

6世紀	須恵系陶器の生産開始	※年代については誘出あり。推定もさむ。
7世紀	南比企窯跡群	
716建郡	東山道・東山道武蔵路	
8世紀	勝呂麿寺	
	光山	
	上猿ヶ谷戸遺跡	
	若葉台遺跡	
	若宮遺跡	
	堂ノ根遺跡	
	女影麿寺	
	張摩久保遺跡	
	大寺麿寺	
	束金子窯跡群	
	拾石・王神遺跡	
9世紀	高岡麿寺	





高麗神社とは

若光の死後、家族・村民が高句麗の祖先と若光を祀るために、祠を創った。

高麗郡の郡司として、歴代の高麗家が祠の祭祀をつかさどったが、平安時代の14代目高麗一豊の時に朝廷から“大宮”の称号を授かり高麗明神から高麗大宮社になった。宮とは神社を指すもので、つまり祠から神社に格上げされた。

14代・高麗一豊から現在の60代・高麗文康まで、官司として祭祀をしているのは高麗家の直系の子孫だけである。

ただし、23代高麗純秀（麗純）より56代高麗大記までの間、神仏習合に成っていた長い期間があった。






聖天院とは

正式には高麗山聖天院勝楽寺と言う。若光の没後、菩提を弔う為に若光が連れてきた使節団の僧・勝楽が寺の開創を決意した。勝楽から、若光の子・聖雲と、孫の弘仁の3代に受け継がれ完成した。



1	こまぐん 高麗郡とは？	○716年、ヤマト政権が駿河など7ヶ国に居住していた高句麗からの渡来系遺民1,799人を武蔵国に移し郡をつくった。当初の範囲は、現在の行政区分の日高市・飯能市の一部であったが、後に鶴ヶ島市・川越市・入間市・狭山市を含む範囲に拡大した。 ○初代郡司は高句麗の王族・若光(じゃっこう)。高麗郡は明治29年(1896年)まで続いた。
2	こうくり 高句麗とは？ →満州民族 の歴史	○紀元前37年から約700年間続いた古代国家、668年新羅・唐連合軍により滅ぼされる。 ○高句麗の範囲は、旧満州南部から朝鮮半島中部にあり、初期の中心地は中国遼寧省桓仁の五女山城にあった。民族としては満州民族で、この民族の子孫は清国の王朝につながった。

※Point 高句麗と後高句麗・高麗は民族が異なります。後高句麗(ごこうくり)と高麗(こうらい)→朝鮮民族の歴史です。
 ・**後高句麗について** 899年～918年、弓裔(きゅうえい)が901年に国号を後高句麗と定めたが、904年には国号を摩震(ましん)に変え、さらに911年には国号を泰封(たいふう)に変えた。
 ・**高麗について** 918年～1392年、高麗の創始者・王建が建国。モンゴルの属国で対馬島民大虐殺に関わったとされています。

3	じゃっこう 若光とは どのような人？	○若光は 666年に高句麗の使者の1人として日本へ来た渡来人です。 資料には”二位玄武・若光”とあり、二位は第二副使、玄武は官位あるいは部族名と思われる。 ○”続日本紀” 703年に、従五位下高麗若光が王姓を賜り高麗王若光とするという記載がある。
4	武蔵国に建郡、 なぜ？	○高麗郡が建郡された時代には、既に渡来人が武蔵国を含む隣接する国に住んでいた。 ○この地では、旧石器時代・縄文時代の遺物が主に出土するが、弥生時代の遺物が少ない。 米作には不向きな土地からか。武蔵国の開発を行わせるため入間郡の既成勢力が少ないこの地域に、それまでの区域を分割して高麗郡をつくった。 ○高麗郡の中心より東1.9kmの所に光山・上猿ヶ谷戸遺跡で、公的施設のような掘立柱の大きな建物跡が出て、馬具や硯も出ている。後の郡役所が軌道に乗るまでの足掛か？
5	郡の中心地は、 どこ？	○現在の武蔵高萩駅と日高高校との間の区域に、高麗郡の役所などと思われる遺跡ある。(拾石・王神・堀之内遺跡)があり、今年に入り隣接した場所で遺跡発掘調査が行われている ○拾石・王神・堀之内遺跡の中心地から約800mの場所に“女影廃寺(若宮遺跡)”があり、他の場所に高岡廃寺と大寺廃寺の3か所の遺跡がある、建郡して間もなく3つの寺が建立される事は稀であり、郡と政権の強い繋がりがうかがえる。
6	建郡に関わる歴史 (大陸での出来事)	○東アジアでは4世紀頃から7世紀末頃まで戦乱が続き、倭国(日本)への渡来人(避難民)が増え、幾つかの建郡に繋がった。 392年 倭国が百済・加羅・新羅を破り、高句麗との間で戦ったと、好太王碑などに刻まれている。 660年 新羅・唐連合軍が百済を滅ぼす。
		大陸での動きに伴い、ヤマト政権が以下の政策を実施した
	(日本での出来事)	660年 百済人難民2,000人を東国へ移す。 663年 新羅・唐連合軍と日本との戦いで(白村江の戦)日本が敗れた事により、防人を配備した。 668年 新羅・唐連合軍が高句麗を滅ぼす。 若光はその2年前に高句麗王の援軍依頼の命を受け来日していた。 669年 白村江の戦の後、日本への百済人難民700人を近江国・蒲生郡へ移す。 684年 百済人23人を武蔵の国へ移す。 687年 高句麗人56人を常盤国、新羅人14人を下毛野国(しもけぬの国・現在の栃木県)に移す。 711年 上野国に多胡郡を建郡。 715年 美濃国に席田(むしろだ)郡を建郡、新羅人を移す。 716年 武蔵国に高麗郡を建郡、武蔵国の周辺7国に住む高句麗人を高麗郡へ移す。 758年 武蔵国(現在の朝霞)に新羅郡を建郡。 760年 新羅人131人を武蔵国に移す。
7	この時代、日本 は？	○唐が成立したころから、倭国という呼名を”日本”と変えて呼び始める。 ○さきたま古墳群の造営は既に終わり、高松塚古墳が造られ、古墳時代の終期を迎えていた。 ○710年、藤原京(16年間の都)から平城京へ都を移す、飛鳥時代が終わり奈良時代が始まる。 ○“高麗建郡”と“武蔵国”の国府が置かれた時代はほぼ同時代である。

建郡について続日本紀に記載されている文章 霊龜二年(西暦716年)五月十六日

辛卯(シンボウ)以駿河。甲斐。相摸。上総。下総。常陸。下野七國高麗人千七百九十九人。遷于武蔵國。始置高麗郡焉

※記載事+A57:K95項に関しては諸説あります。

時代	西暦	日本と北東アジアとの関係	出来事		
ヤマト政権	538	百済 ⇒ 日本	仏教伝来		
	570	高句麗 ⇒ 日本	日本へ遣使		
	600	日本 ⇒ 随	1回目 遣隋使派遣		
	607	日本国内			法隆寺建立
	610	高句麗 ⇒ 日本	僧・曇徴が彩色・紙・墨の製法を伝える		
	625	高句麗 ⇒ 日本	僧・惠灌が三輪宗を伝える		
	630	日本 ⇒ 唐	1回目 遣唐使派遣		
	645	日本国内			大化の改新
	663	日本・百済 ⇒ 唐・新羅	白村江の戦いで日本・百済は大敗		
	664	日本国内			防人制度
	666	高句麗 ⇒ 日本	王族若光が援軍要請で来日		
	705	日本国内			高松塚古墳築造
	奈良時代	712	日本国内		
713		日本国内			丹後国・美作国・大隅国設置
715		日本国内			郷里生を施行
716		日本国内			高麗郡建郡
720		日本国内			隼人反乱・蝦夷反乱
724		日本国内			多賀城設置
727		渤海 ⇒ 日本	初の来朝(919年までに34回)		

高麗郡歴史のまとめ

- ① 高句麗は満州民族により建国され約700年間続いた古代国家であり、民族の末裔は清王朝に繋がっていた。
- ② 高句麗時代は倭国の邪馬台国時代・古墳時代・飛鳥時代にあたり、^{たたかい}戦もあったが友好的な時期もあった。
- ③ 高麗郡が建郡された背景には、北東アジアでの戦乱が長きにわたり続き、倭国に難民として渡来人が増加、未開地の開発に渡来人の技術が必要であったため各地の建郡に繋がり、そのうちの一つが高麗郡である。